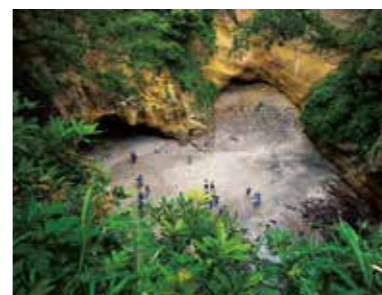


地球レベルの 彫刻に息を飲む 伊豆半島ジオパーク

龍宮窟（下田市）



上部の遊歩道から海蝕洞（かいしょくどう）を見下ろす。ハート型の形状は近年SNSなどでも話題になっている。



強風でできた砂丘「田牛（とうじ）サンドスキー場」。龍宮窟のすぐ横にあり、近くのお店でソリを借りれば、急斜面を滑り降りることが可能。

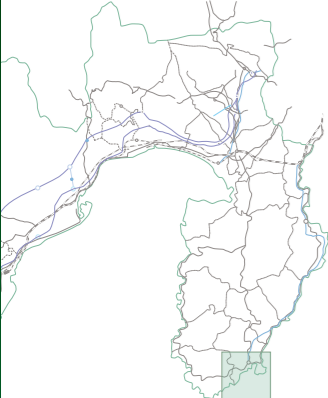


天窓から月光が差し込むと幻想的な光景が現れる。

龍宮窟（りゅうぐうくつ）

静岡県下田市田牛
【駐車場】あり
伊豆急下田駅から車で約15分。
下田駅より「田牛」行きに乗車し「前の浜」下車、徒歩約3分。

【ジオパークに関する問い合わせ先】
伊豆半島ジオパーク推進協議会
静岡県伊豆市修善寺838-1
0558-72-0520
<http://izugeopark.org/>



大地にぼっかりと空いた大きな穴。伊豆半島のほぼ南端、下田市の田牛（とうじ）にある龍宮窟（りゅうぐうくつ）は、地球が悠久の時をかけて刻んだ奇跡の絶景だ。

龍宮窟は、海岸に打ち寄せる波が崖を削った海蝕洞。海蝕が進むほどに内部の空洞が巨大化し、やがて天井部分が崩落して天窓構造になった。穴の直径は約50メートル。切り立った内部の崖には海底火山から噴出した火山灰の堆積層が露出し、黄褐色の縞模様を描いている。その光景は見る者を圧倒し、自然に対する畏怖をも抱かせる。

海底火山の痕跡が数多く残る伊豆の南部には、堂ヶ島天窓洞（西伊豆町）や弥陀窟（南伊豆町）付近など、天窓構造を持つ海蝕洞が他にも存在する。その中でも龍宮窟は、海蝕洞内部に向かって下りられる階段や、天窓の周囲に巡らされた遊歩道により、上からも下からもその内部構造を間近に観察できる絶好の場所だ。地球という作家が生み出した奇跡の彫刻作品と言ってもよい。

ユネスコ世界ジオパーク認定を目指す伊豆半島は、自然遺産の宝庫だ。静岡県と伊豆半島地域の15市町は、遺産の保全に努めながら、ジオサイトへの正しい理解を広く一般に促す活動にも力を注いでいる。平成28年には伊豆半島ジオパークミュージアム「ジオリア」を開設し、「見て」「触れて」「体感できる」展示によって自然や地球環境に対する関心を喚起している。

龍宮窟の内部から天窓を見上げ、ゴツゴツとした崖に触れていると、やがて打ち寄せる波の音色に混じって、地球の胎動も聞こえてくる。そんな思いに包まれる伊豆半島ジオパークは、大いなる自然の博物館だ。



龍宮窟の内部から天窓を仰ぐ。神秘的な光景に思わず息を飲む。

contents

01 [静岡景観]
龍宮窟

03 [知事対談]
ふじのくから世界へ
日印友好交流年対談
駐日インド大使
スジャン・チノイ氏

07 [世界に開かれた観光・通商・外交]
クルーズ船の寄港誘致で
清水港を国際クルーズ拠点に

09 [スポーツ王国しずおか]
県民の総力で
ふじのくにを自転車の聖地へ!

11 [県政特集]
世界を変える静岡県の先端農業
Agri Open Innovation (AOI)
プロジェクト

13 [ふじのくにブランド]
静岡わさび

14 [Living My Dream Life in ふじのくに]
宮城ユキミさん